

デジタル田園都市国家構想推進交付金事業について

1. デジタル田園都市国家構想推進交付金事業について

(1) 養老町地域消費活性デジタル化事業【デジタル実装タイプ】

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
養老P a y利用者数（人）	—	(R6) 6,550
養老P a yによるQRコード決済消費額（千円）	—	(R6) 75,000
町外利用者による消費額（千円）	—	(R6) 15,000

補足等

- 令和3年度に開発した町独自のキャッシュレス決済アプリ「養老P a y」の機能拡充のため、システム改修を行います。
具体的には、地域ポイントの導入や「養老P a y（カード）」の発行、オンデマンドバス予約システムとの連携を実施する予定です。
- 地域ポイントの導入については、町のイベントやボランティア活動に参加した場合にポイントを付与することで、賑わいの創出と町内経済の活性化を目指します。
- 「養老P a y（カード）」については、アプリを利用できない方に対し、「養老P a y」と同等の機能を有したカードを発行することで、キャッシュレス決済および「養老P a y」の普及に繋がります。
- オンデマンドバス予約システムとの連携については、利用者のさらなる利便性向上のため、予約から支払いまでをシームレスに行えるようにするものです。

(2) DMC¹ビジネス推進事業（シティプロモーション事業）【テレワークタイプ】

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
旅行会社と連携して造成するテレワーク・ワーケーション旅行商品数（件）	—	(R7) 19
体験型プログラムの商品化（件）	—	(R7) 15
観光入込客数（千人）		(R7) 1,219

補足等

- 1) 「YORO f f i c e」に進出した企業が、DMCとして町内旅行会社等と業務提携を行い、町内宿泊施設での滞在プランや地域資源を活用した体験プログラムを組み込んだテレワーク・ワーケーション旅行商品を造成し、国内外の旅行会社および個人利用者への販売を予定しています。
- 2) 上記旅行商品を町外企業が利用することで、短期・中期の滞在による観光消費拡大と、「YORO f f i c e」への企業進出を図ります。

(3) お試し移住推進空き家リフォーム宿泊施設事業【テレワークタイプ】

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
稼働率（％）	—	(R7) 50
空き家リフォーム宿泊施設の整備（軒）	—	(R7) 5
観光入込客数（千人）		(R7) 1,219
移住者数（人）	—	(R7) 400

補足等

- 1) 「YORO f f i c e」利用者が将来的な移住を検討できるよう、町内の空き家をリフォームし、お試し移住を体験できる中・長期滞在用の宿泊施設として整備します。
- 2) 上記のDMCビジネス推進事業と同様に、「YORO f f i c e」に進出した企業が、本事業を町内の各種関係団体と連携して実施することで、町に新たなひと・しごとの流れを創出し、関係人口の拡大や移住・定住者の獲得へ繋げていきます。

¹ デスティネーション・マネージメント・カンパニーの略で、地域資源を活かした観光地経営を主導し、データ分析や戦略づくり、旅行商品の開発や販売を行う会社のことです。